

子ども教育学部

Faculty of Childhood Education

教授

竹林地 毅（ちくりんじ たけし）

<http://labo-tchikurinji.jp/>

講義紹介

知的障害等のある児童生徒の教育課程と指導法について学びます。教育課程に関する法令や学習指導要領等の規定の行間にある先人の願いや思いを実際と結び付けて、わかりやすく学びます。また、優れた教育実践を紹介したり、参観したりして、知的障害等のある児童生徒が自信を持ち、自分で判断して行動するよう育む教育について实际的・実践的に学びます。

担当科目：障害児の教育課程と指導法、知的障害児教育演習

大学の魅力

「人」：他者へのまなざしが優しく、明るく、貢献意欲の高い学生

フレンドリーで学生の成長に感動し、共に学ぶ教職員

「もの」：教育と密接な関係がある看護・リハビリ等の図書や資料が豊富

「場」：広島湾・太田川に近く、新しい街と歴史がある街にあるキャンパス、生活はとても便利

受験生へのメッセージ

「己に徹して人の為に生きよう」は出身高等学校の校訓です。人が生きていくとき、自分が必要とされ、誰かの役に立つことができているという実感が大事だと思います。自分らしさ・自分の得意なことを追求し、人のために役立つことを目指したいですね。

私も「夢ある限り青春」という言葉を励みに、「夢を駅伝のタスキのように引き継いで走る“夢伝”」を走り続けたいと思っています。一緒に走りましょう。

竹林地 毅

ちくりんじ たけし

竹林地 毅 CHIKURINJI Takeshi

子ども教育学部 子ども教育学科 教授

学歴・学位

山口大学教育学部小学校教員養成課程 卒業

広島大学大学院学校教育研究科障害児教育専攻 修了（修士（学校教育学））

主要職歴

昭和54年 4月	広島県立呉養護学校教諭
昭和58年 4月	国立広島大学附属東雲小学校教諭
平成 6年 4月	広島県立教育センター研究員
平成 9年 4月	広島県立教育センター指導主事
平成11年 4月	広島県教育委員会事務局障害児教育室指導主事
平成12年 4月	国立特殊教育総合研究所知的障害教育研究部重度知的障害教育研究室長
平成14年 4月	独立行政法人国立特殊教育総合研究所知的障害教育研究部重度知的障害教育研究室長
平成16年 4月	独立行政法人国立特殊教育総合研究教育支援研究部総括主任研究官
平成17年 4月	広島県教育委員会事務局障害児教育室長
平成18年 4月	広島県教育委員会事務局特別支援教育室長
平成22年 4月	広島県教育委員会事務局特別支援教育課長
平成23年 4月	国立大学法人広島大学大学院教育学研究科准教授

平成28年 4月	広島大学学術院准教授（教育学部）
令和 4年 4月	広島都市学園大学子ども教育学部教授（現在に至る）

専門分野

知的障害教育

主な担当科目

知的障害児教育 知的障害児教育演習 障害児の教育課程と指導法 キャリア教育Ⅰ

特別支援教育（特別支援学校）教育実習事前・事後指導 介護等の体験事前・事後指導

特別研究Ⅰ 卒業研究

研究テーマ

知的障害のある児童生徒の授業 知的障害のある児童生徒の教育課程 授業研究

知的障害のある児童生徒のキャリア教育・職業教育

ひとこと

「夢を駅伝のタスキのように引き継いで走る“夢伝”」を一緒に走りましょう

その他（所属学会・団体）

日本特殊教育学会、日本教育経営学会、初等カリキュラム学会、美術科教育学会

研究活動等

キャリア発達支援研究会中国・四国支部の活動

1) 支部実践交流会（主催：研究室）

開催日程：おおよそ3ヶ月に1回 半日程度

開催形式：オンライン

内容：支部のメンバーが持ち回りで話題提供（実践紹介）と協議

2) 支部学習会（主催：研究室、共催：広島都市学園大学）

開催日程：例年8月に1日

開催形式：対面（会場は広島都市学園大学）

内容：キャリア発達支援に関するテーマに基づく講演、実践報告・協議

過去のテーマ：共創、非認知能力の育成、ウェルビーイング

生涯学習の活動

名称：Do 動 Do

目的：障害のある人の表現活動の場を創り、参加者の「今を生きる」充実感を考える

[活動：おおむね月に1回、半日](#)

会場：広島大学学士会館レセプションホール

参加費等：無料、事前申込は不要

学術論文

- 1) 横山由季・他・竹林地毅（2022）小学校・中学校知的障害特別支援学級における自分や他者を大切にする資質・能力を育む授業プログラムの開発、学部・附属学校共同研究紀要 49 号
- 2) 横山由季・他・竹林地毅（2021）多様性と深い学びを保障する授業の開発：音楽・身体をてがかりに、学部・附属学校共同研究紀要 48 号
- 3) 村上由紀・竹林地毅（2021）知的障害特別支援学校における地域貢献をテーマとする学習活動の現状、広島大学大学院人間社会科学研究科附属特別支援教育実践センター研究紀要 19 号
- 4) 高橋望・竹林地毅（2021）知的障害のある児童の主体的な行動を促す生活単元学習の在り方：行事単元（劇づくり）の検討、広島大学大学院人間社会科学研究科附属特別支援教育実践センター研究紀要 19 号
- 5) 久保真喜子・東内桂子・竹林地毅（2020）特別支援学校における学校運営協議会を通したカリキュラム・マネジメントの実践：ファシリテーションのスキルを活用した企画・運営と分析、広島大学大学院人間社会科学研究科附属特別支援教育実践センター研究紀要 18 号
- 6) 高木由希・竹林地毅（2018）同僚性、協働性着目した小学校特別支援学級担任者の職務の検討、広島大学大学院人間社会科学研究科附属特別支援教育実践センター研究紀要 16 号
- 7) 実政修・竹林地毅（2018）ファシリテーションを活かした特別支援教育コーディネーターの実践：校内の特別支援教育に関する委員会（ケース会議）、相談・研修活動の実践から、広島大学大学院人間社会科学研究科附属特別支援教育実践センター研究紀要 16 号

学会発表等

- 1) 太田容次・広兼千代子・達直美・小野龍智・竹林地毅（2024）支え合い・学び合う環境の構築Ⅶ－新たな教員の学びとキャリア発達の検討－、日本特殊教育学会第 62 回大会（自主シンポジウム）

- 2) 岩井祐一・本田智寛・村木友香・竹林地毅・坂井聡（2024）知的障害特別支援学校における理科授業のあり方、日本特殊教育学会第 62 回大会（自主シンポジウム）
- 3) 太田容次・広兼千代子・達直美・石井幸仁・織田晃嘉・竹林地毅（2023）支え合い・学び合う環境の構築Ⅵー対話を通じた教育のキャリア発達の検討ー、日本特殊教育学会第 61 回大会（自主シンポジウム）
- 4) 岩井祐一・坂井聡・竹林地毅・福本徹・中西史（2023）知的障害特別支援学校における理科授業のあり方を考える、日本特殊教育学会第 61 回大会（自主シンポジウム）
- 5) 池田史志・児玉真樹子・竹林地毅（2022）障害のある人の美術展覧会の鑑賞に関する実態調査Ⅱー記述回答の分析を通してー、日本特殊教育学会第 60 回大会(ポスター発表)
- 6) 太田容次・広兼千代子・達直美・石井幸仁・織田晃嘉・竹林地毅（2022）支え合い・学び合う環境の構築Ⅴー社会の変化に柔軟に対応するために必要な教育の資質・能力の検討ー、日本特殊教育学会第 60 回大会（自主シンポジウム）
- 7) 陳玉欣・竹林地毅（2021）中国（福建省）の培地学校の職業教育の現状と課題、日本特殊教育学会第 59 回大会（オンライン発表）
- 8) 池田史志・他・竹林地毅（2021）アートと共生に関する調査及び施策一体型プロジェクトー自治体・大学・美術館・NPO の連携による包括的实践研究開発ー、日本特殊教育学会第 59 回大会（オンライン発表）
- 9) 横山由季・他・竹林地毅（2020）多様性と深い学びを保障する授業の開発、初等カリキュラム学会第 4 回大会（ポスター発表）
- 10) 菊池一文他・竹林地毅（2019）多様な教育的ニーズに対応するために必要な支援システムとは、日本特殊教育学会第 57 回大会（自主シンポジウム）
- 11) 中塔大輔・他・竹林地毅、（2019）学校と地域・企業等の協働によるキャリア教育・職業教育日本特殊教育学会第 57 回大会（準備委員会企画シンポジウム）
- 12) 長津結一郎・他・竹林地毅（2019）障害のある人の芸術活動ー出会い・つながり・新しい価値の創造の現状と特別支援教育の課題ー、長津結一郎他・竹林地毅、日本特殊教育学会第 57 回大会（準備委員会企画シンポジウム）
- 13) 三田地真美・他・竹林地毅（2018）支援会議を活性化させる「ファシリテーション」（2）、日本特殊教育学会第 56 回大会（自主シンポジウム）
- 14) 渡邊章・他・竹林地毅（2018）インクルーシブ教育システム構築のための課題と取組、日本特殊教育学会第 56 回大会（自主シンポジウム）
- 15) 真鍋健・他・竹林地毅（2018）知的障害特別支援学校における「遊びの指導」の今（1）、日本特殊教育学会第 56 回大会（自主シンポジウム）
- 16) 高木由希・竹林地毅（2018）小学校特別支援学級担任者の職務認識に関する研究、日本特殊教育学会第 56 回大会（ポスター発表）

著書

- 1) Career and Vocational Education for Special Education Students in Japan: Collaboration between Schools and Local and Thematic-based Communities. Takeshi Chikurinji and Satomi K.shinde. *The Value of Employment for People with Disabilities Around the World*, Cambridge Scholars Publishing, 2024 年

- 2) これからの特別支援教育はどうあるべきか（分担執筆）、東洋館出版社、2023 年
- 3) 特別支援教育総論 第 2 版(分担執筆)、北大路書房、2023 年
- 4) 特別支援教育の授業の理論と実践 通常学校編（分担執筆）、あいり出版、2018 年
- 5) 特別支援学校新学習指導要領ポイント総整理（分担執筆）、東洋館出版社、2018 年
- 6) 地域共生社会の実現とインクルーシブ教育システムの構築（分担執筆）、あいり出版、2017 年
- 7) 特別支援教育の到達点と可能性（分担執筆）、金剛出版社、2017 年
- 8) ファシリテーションで大学が変わる（分担執筆）、ナカニシヤ出版、2016 年
- 9) 新時代の知的障害特別支援学校の音楽指導(監修)、ジアース教育新社、2015 年
- 10) 改訂新版 特別支援教育総論(分担執筆)、放送大学教育振興会、2015 年

教育雑誌等

- 1) 「各教科を合わせた指導」の展望、特別支援教育研究 No.717、2017 年
- 2) 「各教科を合わせた指導」の本質、特別支援教育研究 No.729、2018 年
- 3) キャリア教育で自分や大切な人のために働く意欲を育む、実践障害児教育 No.515、2019 年
- 4) 学びに向かう力、人間性等の涵養と評価、特別支援教育研究 No.758、2020 年
- 5) キャリア発達を図式化・可視化する～TEM 図の作成を通して、菅沢麻依・竹林地毅、キャリア発達支援研究 7、2020 年
- 6) 知的障害が重いといわれる児童生徒の学習評価、特別支援教育研究 No.764、2021 年
- 7) 解説：地域社会に開かれた教育課程の実現と作業学習、特別支援教育研究 No.767、2022 年
- 8) 知的障害教育の本質と将来展望、名古屋恒彦・米田宏樹・竹林地毅・加藤宏昭（対談）、特別支援教育研究 No.778、2022 年
- 9) 解説：この単元の魅力を徹底解説、特別支援教育研究 No.778、2022 年
- 10) 単元にこだわった授業づくりを考える、特別支援教育研究 No.782、2022 年
- 11) 解説：生き抜く力を育む防災学習と単元学習、特別支援教育研究 No.782、2022 年
- 12) Innovative approaches to transition、Satomi k.Shinde・Takeshi Chikurinji、*Impact Vol.32, No.2*, INSTITUTE ON COMMUNITY INTEGRATION、2022 年
- 13) 第 9 回年次大会（広島大会）の企画趣旨(経緯とテーマ・プログラム、運営)、キャリア発達支援研究 9、2023 年
- 14) 主体性が発揮され、同僚性と協働性のある学校で教師は成長する、特別支援教育研究 No.791、2023 年
- 15) 緊急対談 「各教科等を合わせた指導」を取り巻く現場の状況と今後向かうべき方向について（対談）、特別支援教育研究 No.793、2023 年
- 16) 実践解説 特別支援教育とウェルビーイングの向上について（対談）、特別支援教育研究 No.799、2024 年
- 17) 展望 「夢伝」走者への呼びかけ、特別支援教育研究 No.801、2024 年
- 18) 実践解説 児童生徒の主体的な学びと「できる状況づくり」、特別支援教育研究 No.809、2024 年

研修会等の講師（2024 年度）

- 1) 「特別支援学級や特別支援学校でめざす授業づくり～意欲と有用感を高め、体験を経験にする展開と工夫」 岐阜県立羽島特別支援学校公開講座
- 2) 「体験・経験と対話によりキャリア発達を促す教育」 名古屋市教育センター特別支援学校・特別支援学級・通級

指導教室教員研修会

- 3) 「家で話したくなる・存在感がある特別支援学級—児童生徒の理解と授業づくりのポイント」 岡山市教育センター
令和 6 年度知的障害研修講座
- 4) 「知的障がいのある児童生徒の主体的な学び—学びを実感する単元・授業づくり」 三重県立特別支援学校西日
野にし学園
- 5) 「学びを実感する単元・授業づくり～育てたい児童生徒・めざしたい授業と支援」 愛媛県立新居浜特別支援学校
- 6) 「特別支援教育の仕組みとやりがい」 広島都市学園大学 特別支援教育に関心がある高校生のための講座
- 7) 「単元づくりと指導・支援 学びをつなぐ・使いながら身に付ける」 第 29 回全日本特別支援教育研究連盟中国・
四国地区研究大会（広島大会）分科会「各教科等を合わせた指導」
- 8) 「ファシリテーションスキルを活用した学校経営」 広島県公立高等学校教頭会特別支援学校部
- 9) 「これからの各教科等を合わせた指導—生活単元学習を中心に」 広島県立教育センター令和 6 年度専門講座
- 10) 「教科の良さや学ぶ楽しさを実感できる授業づくり」 第 63 回全日本特別支援教育研究連盟全国大会福井大
会分科会「教科別の指導」
- 11) 「生徒の主体性を引き出す授業づくり」 北海道札幌あいの里高等支援学校公開研修会
- 12) 「生活や次の学びに生かす授業づくり」 令和 6 年度広島県立尾道特別支援学校公開授業研究会
- 13) 「知的障害のある児童とのコミュニケーションを考える」 令和 6 年度広島県立呉南特別支援学校公開授業研究
会
- 14) 「地域協働・共創」 キャリア発達支援研究会第 12 回年次大会（青森大会）大会企画セッション・グループセッ
ション
- 15) 「人が育つ組織 満足感・安心感のある組織」 佐賀県立大和特別支援学校研究発表会
- 16) 「日本の知的障害特別支援学校のキャリア教育・職業教育」 広東省広州市南沙区啓慧学校・福建省廈門特
別支援学校
- 17) 「今とこれからを生きる力と各教科等を合わせた指導」 第 103 回愛媛教育研究大会（特別支援学校の部）
- 18) 「今と未来を生きる子どもたちと授業」 令和 6 年度京都教育大学附属特別支援学校研究発表会